

## クローバー

## 「第50回日本脳神経看護研究学会」を主催して

看護部 副看護部長  
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 櫻井 香織

春の広報誌(86号)でも紹介させていただきましたが、私は脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として「日本脳神経看護研究会」に所属し、院外でも活動しています。この研究会は全国を10ブロックに分けて地方部会を行っており、私は「北陸地方部会」の認定看護師と協同して脳神経看護の研修を、看護師を対象に毎年開催しています。そして、地方部会とは別に全国学会も毎年開催されており、2023年9月30日(土)に金沢市文化ホールで「第50回日本脳神経看護研究学会」が開催されました。私がこの学会を主催させていただき北海道から沖縄県まで脳神経看護に携わる看護師が500人ほど参加されました。

従来、本学会の大会長は大学教授等が担われており、民間病院の認定看護師が大会長となるのは初めてのことでした。また、新型コロナウイルス感染症によりここ3年間はWEB学会でしたが、5類へと移行されたこともあり4年ぶりに現地開催となったこと、そして第50回という節目となる大会でしたので私には大変荷が重い役でした。しかし、北陸地方部会のメンバーと協同しながら準備を進めて参りました。

本学会のテーマは「創造する～脳神経看護の未来～」といたしました。脳神経疾患を発症する患者さんの症状は障害される脳の部位によって異なり、身体的機能の障害だけではなく、高次脳機能障害など目に見えない障害は一般の方々には理解されにくく、脳神経看護に携わる看護師には高度なアセスメント力が必要とされます。また、高齢患者の状態は複雑化し、集中的な入院医療と生活を支える在宅医療が必要とされることから

「脳卒中相談窓口」が開設されたことを踏まえて、これからの脳神経看護を創造していくためのプログラムを構成し、専門の医師だけではなく脳卒中を発症したルポライターの方から「患者体験」のご講演を賜りました。

日本脳神経看護研究会の全国学会が金沢市で開催されるのは初めてのことでしたので、参加される方には北陸の文化にも触れていただきたいと考え「茶道体験」「水引体験」「味噌玉作り」の他にも複数のリラクゼーション体験や、能登・加賀・富山県のフードも販売したりと沢山の「おもてなしコーナー」を設け、本学会に参加することで脳神経看護の知見を深め、そして身体的にもリフレッシュできる学会となり盛会のうちに学会を終えることができました。

「学会」と言う言葉を聞くと医師の学会を想像される方が多いと思いますが、看護学会、リハビリテーション学会、栄養学学会、薬学学会など様々な学会があります。皆さまもご存じのとおり医学は「日進月歩」です。医療従事者は専門職として医学的知識と技術を持っていますが、当院で勤務している看護師やコメディカルも学会に参加して、新しい知識や技術を習得しています。私たち専門職は務めて学会に参加し、新たな見識を持った医療チームとなって、患者さんに質の高い医療が提供できるよう励んでいます。

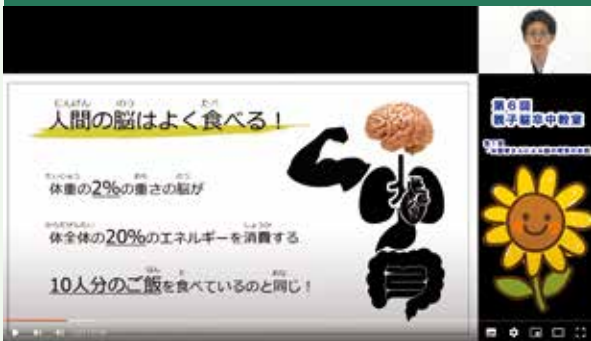


# 第6回親子脳卒中教室をオンライン開催しました！

今年度も親子脳卒中教室を開催いたしました。感染対策を考慮し、昨年同様にオンラインでの開催となりました。医師による講義、寸劇、そして病院内の案内を動画配信にて行いました。今回は184名の方にお申し込みいただき、大変好評をいただきました。

来年は、状況が許す限り現地での開催を心から望んでおります。次回もぜひご参加ください。

## 第1部 「お医者さんによる脳の病気のお話」



金沢大学附属病院 脳神経外科 筒井 泰史先生のお話でした！

## 第2部 お医者さんたちの劇「知っとかんと脳卒中」



脳卒中になった時の対応について、当院の医師が中心に熱演しました！

## 第3部 「病院をもっと知ろう！院内ツアー体験」



救急室や検査機器などを紹介しました！

## Q & Aコーナー



事前にいただいた質問についてお答えしました。

## 視聴後にたくさんのコメントをいただきました！

救急車で来た人がどうなっていくのか、興味深そうに見ていました。

普段入らない場所ばかりなので、院内ツアーがよかったです。

劇を毎年楽しみにして観ていました。すぐ119番するんやよ〜、と劇途中にもかわらず先に言っていました。すぐ連絡してくれそうです！

救急車を呼ぶのを躊躇しがちでしたが、この動画のおかげで**すぐに呼ぶことが重要**であると分かりました。

子供向けにわかりやすく説明がされていて、劇も楽しかったです。

とても分かりやすく、早速子どもが**祖父母に気を付けるように**話していました。

毎年みえます。劇がとくに面白かったです。子どもが大爆笑してました。「**大きい病院**」という場所が身近に感じました！

筒井先生のレクチャーで脳卒中予防には**バランスのよい食事、運動、お酒はほどほどに、タバコは吸わないの4点**を小学3年の娘が動画視聴後もしっかり覚えていました。

昨年に続きイベントに参加させて頂きました。昨年は第2部のみ興味を持っていた子供達が、今年は1~3部の全ての動画に興味を持っていました。子供達にとって、**普段接する事のない分野に**触れ合う機会を頂きありがとうございました。

毎年みえています。私は毎回劇が好きと聞いていました。この動画をみて「**お父さんタバコやめてね!**」と注意しておりました。



# 連携登録医のご紹介

## 連携登録医とは

地域の医療機関と金沢脳神経外科病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の連携を目指し開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

## 今回は、野々市市太平寺の「わかばやし眼科クリニック」をご紹介します。

当院は、平成4年に野々市市太平寺で開業し、今年で31年になります。現在は、眼科専門医5名が診療を行っており、一般的な結膜炎から白内障手術、緑内障治療、小児眼科や近視抑制治療（低用量アトロピン点眼、オルソケラトロジー）、さらには網膜硝子体疾患（糖尿病網膜症や加齢黄斑変性症など）の治療まで、幅広い眼科疾患に対応しております。白内障や網膜硝子体疾患に対する手術は入院と日帰りで行っています。患者様の声を大切にし、症状の原因を正確に診断して最適な治療を提供できるよう全力で日々診療を行っております。

眼科分野は、外眼筋麻痺や脳梗塞・脳動脈瘤・脳腫瘍に起因する視野障害、視神経炎など脳神経と関連する疾患が多くあり、複視などの症状でまず眼科を受診される患者様も少なくありません。金沢脳神経外科病院の先生方とは、平素より緊密に連携をさせていただき誠に有難うございます。いつも迅速に診断や治療を行っていただけることから大変心強く、心より御礼申し上げます。

目の症状でお困りでしたら、お気軽にご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



### 取材スタッフより

患者さんの相談にあたたかく応えてくださる雰囲気の先生方で、地域からの信頼の厚さを感じました。



院長 若林 謙二 先生  
若林 卓 先生

### 【略歴】

#### 院長 若林 謙二 先生

金沢大学医学部卒業  
金沢大学医学部 眼科学教室入局  
金沢大学医学部 助手  
金沢大学医学部 講師  
学位取得(医学博士)  
米国ミシガン大学眼科研究員  
金沢大学医学部附属病院講師 医局長  
若林眼科開院  
金沢大学医学部眼科臨床教授

#### 若林 卓 先生

平成16年 金沢大学医学部卒業、初期臨床研修  
平成18年 大阪大学眼科入局  
平成19年 社会保険紀南病院眼科医員  
平成26年 大阪大学大学院医学系研究科卒業(医学博士)  
平成27年 大阪大学眼科 医員  
平成29年 大阪大学眼科 助教  
令和3年 米国トーマスジェファーソン大学Wills眼科病院留学  
令和5年 若林眼科

### 【診療科】眼科

【住 所】野々市市太平寺3丁目160

【電 話】076-294-0707

### 【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
8:30-12:15	○	○	○	△	○	8:30~12:00
14:00-18:00	○	○	○	△	○	13:00~15:00

休診日：日曜・祝日・木曜



## 身寄りがない人の生活と医療における課題

医療ソーシャルワーカー 武林 真美



少子高齢化、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化などによりいわゆる「身寄りのない方」が増えています。在宅では空き家や賃貸住宅の保証人問題、金銭管理や福祉サービス利用契約などの場面でご本人や周囲の方々が困りの声を耳にします。一方入院時には、医療同意、緊急連絡先や日用品の準備、計画書の同意や支払い、退院先の確保などに問題が生じます。

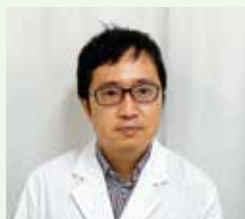
各医療機関では、医療倫理とリスクマネジメントの観点から、国のガイドラインに基づきケースごとに対応されていると存じます。具体的には、医療同意については本人の意志決定支援と事前意志に着目して支援し、その他については院内のしくみづくりと地域関係機関との連携が重要です。

「身寄りのない方」が社会背景にかかわらず適切な医療が受けられ、ご本人の意向に沿った地域生活に移行できるよう、地域全体で解決策を考えていくことが必要と考えます。

今後とも、連携とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 土曜日の脊椎外来の担当医が変更となりました。

土曜日の脊椎外来では、毎月2回、滋賀県の天津赤十字病院から2名の医師に来ていただいておりますが、担当医が変わりました。



第3土曜  
担当

いおろい よしひこ  
五百蔵 義彦 先生

10月から脊椎外来でお世話になっている五百蔵 義彦と申します。出身は兵庫県で、普段は京滋地区で脳神経外科医として活動しています。

脊椎疾患の診療をサブスペシャリティとしています。

特に、低侵襲手術領域で、約8mmの創で治療することができる全内視鏡下脊椎手術(FESS)が得意分野です。

頰椎症や腰椎椎間板ヘルニア等でお困りの方で術後の早期退院希望や術後創部痛をなるべく抑えたいという希望がございましたら是非ご相談下さい。



第1土曜  
担当

こばやし たまき  
小林 環 先生

11月から脊椎外来でお世話になっております、小林環と申します。普段は滋賀県で脊椎外科を専門に脳神経外科医として勤務しております。

椎間板ヘルニアや、側弯症といった背骨の変形、頸部・腰部脊柱管狭窄症といった脊椎の病気を対象として診療させていただいております。首や腰といった病気は、その部位の痛みだけでなく、手足のしびれ・痛みや力の入りにくさ、という症状で発症するのが特徴です。

患者様の症状に沿った最適な治療をご提案させていただきますので、気になることがございましたらお気軽にご相談ください。

病院  
理念

私たちは脳神経外科医療の専門家として十分な医療を提供し社会に貢献します。



医療法人社団 浅ノ川  
金沢脳神経外科病院

石川県野々市市郷町262-2  
TEL:076-246-5600 FAX:076-246-3914  
<https://www.nouge.net>

金沢脳神経外科病院 広報誌 第88号 発行:広報委員会  
2023年12月1日発行